

授業科目名 (英文名)	情報システム論(経営学部・専門科目)(Information Systems)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	西出 哲人	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	情報通信技術は企業活動のインフラストラクチャーとして重要な役割を担っている。この講義の目的は、企業で利用される情報通信技術について、クライアントの視点から理解することである。利活用に関連する操作を体験し、社会的分業の進展や、セキュリティなどの潜在的な問題点が類推できることを到達目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容 この授業では、企業情報システムを支える技術の一つである、WWWに注目する。そして、Webページの作成を通じて、クライアントサイドの情報技術を学ぶとともに、セキュリティの問題やWWWを支える社会的分業について検討する。</p> <p>II 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業におけるICT利用(1回)</li> <li>2. WWW       <ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 wwwの仕組み(1回)</li> <li>2-2 HTML(3回)</li> <li>2-3 URL(1回)</li> <li>2-4 WWWのセキュリティ(2回)</li> </ol> </li> <li>3. CSS       <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Webページのスタイル(1回)</li> <li>3-2 CSSファイル(2回)</li> <li>3-2 CSSファイルの応用(2回)</li> </ol> </li> <li>4. JavaScript       <ol style="list-style-type: none"> <li>4-1 JavaScriptの基本(1回)</li> <li>4-2 JavaScriptによるプログラミング(4回)</li> <li>4-3 Debug(2回)</li> <li>4-3 例外処理(2回)</li> <li>4-3 アニメーションとCSSとの連携(3回)</li> </ol> </li> <li>5. Webページの構成と社会的分業       <ol style="list-style-type: none"> <li>5-1 JavaScriptの関数とライブラリ(2回)</li> <li>5-2 jQuery(2回)</li> </ol> </li> <li>6. 評価(到達度の確認)</li> </ol>		
テキスト	授業で利用したプレゼンテーションシートの一部を提供する。		
参考文献	ライリージャパン、Robin Nixon(著)永井 勝則(訳)「初めてのPHP、MySQL、JavaScript & CSS 第2版」オライリージャパン、三上信男「ネットワーク超入門講座第3版」ソフトバンククリエイティブ、山田祥寛「JavaScript本格入門」技術評論社、David Flanagan(著)村上列(訳)「JavaScript 第6版」オ大津真「3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門」技術評論社、「ゼロからはじめるJavaScript」 FOM出版 その他のものについては、トピックに応じて授業中に紹介する。		
成績評価の基準・方法	実際の操作を通じて、企業における情報システムの利活用について、基本を習得した者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力(情報システムの利活用能力、社会的分業の理解、情報システムの潜在的課題の理解)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。平常点(毎回の練習問題など30%)およびレポートを含めた課題(70%)で総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	作業結果が次の作業の前提となるので、欠席すると負担が大きくなる。PCの操作を滞りなく行えることを前提とする。履修者数によって、変更が生じる場合があるので、掲示等に注意すること。		
実践的教育	該当しない		

## 備考

担当教員の専門は経営情報システム論であり、本講義では、企業における情報通信技術の利活用の基礎について学ぶ。